

「MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035-、MIRAI SCHOOL いたばし -アクションプラン2028-」及び「MIRAI SCHOOL いたばし -多様な学び推進2028-」の記載内容の一部変更について

1 経緯

「MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035-、MIRAI SCHOOL いたばし -アクションプラン2028-」及び「MIRAI SCHOOL いたばし -多様な学び推進2028-」については、令和8年2月17日及び18日の文教児童委員会で原案を報告し、公表に向け準備を進めていた。

その後の最終的な精査過程（令和8年3月中旬）において、「イエナプラン教育」に係る記載及び関連する構成（コラム等）について、より板橋区の公教育の計画としてふさわしい形への一部変更を行った。

2 変更理由

板橋区の教育に係る計画において、「イエナプラン教育」という言葉や手法を明記した場合、その言葉だけが独り歩きし、区が一律で特定の考えを導入しようとしている、と誤解されてしまうリスクがあるとの懸念があった。

そのため、誰でも分かりやすく、誤解の生まれにくい表現に置き換えることが望ましいことから、教育委員会がこれまで目指してきた理念との一貫性を担保し、「イエナプラン教育」という固有名詞は使用せず、代わりに「子どもを真ん中に据えた教育」という普遍的な表現へと言い換え、構成の整理などを行うこととした。

ただし、一人ひとりの特性に応じた学びや探究といった多様な学びの要素を取り入れ、実践を推進していく方向性に変更はなく、板橋区の公教育の計画としてより慎重かつ着実に取り組めるように配慮したものである。

3 変更箇所

- (1) 別紙1「MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035-、
MIRAI SCHOOL いたばし -アクションプラン2028-」
新旧対照表のとおり
- (2) 別紙2「MIRAI SCHOOL いたばし -多様な学び推進2028-」
新旧対照表のとおり

4 「子どもを真ん中に据えた教育」の要素と取り組み例（参考）

「人が幸せに生きるための教育」の実現のために	
「子どもを真ん中に据えた教育」の要素	取り組み例
①異年齢の交流・学び合い	異年齢交流の充実（縦割り活動、児童会・生徒会、行事など）
②自己調整型の学び（自己選択・調整・決定）	「板橋区授業スタンダードS」、個別最適+協働的+選択可能な学び
③探究的な学び	生活科・総合的な学習の時間、各教科での探究、ユネスコスクール
④対話の重視	話し合い活動の充実、学級活動の日
⑤自治的・主体的な活動	特別活動（学級会、児童会・生徒会、行事、ルールメイキング）
⑥遊びの中の学び	学級レク、休み時間、あいキッズ
⑦ありのままの自己受容	自己肯定感・自己有用感、道徳、校内別室
⑧違いを認める	他者理解、交流活動、福祉教育・ボランティア学習、国際理解教育
⑨保護者、地域とともに創る学校	PTA、iCS、学校支援地域本部、地域との連携・協働
⑩教育環境の整備（①～⑨が実践しやすい環境）	正面性のない教室、リビングルームのような教室、オープンスペース、教科センター方式

別紙1「MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035-、MIRAI SCHOOL いたばし アクションプラン2028-」
新旧対照表

概要版p.2

新	旧
計画体系 1 子ども一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす教育の実現 施策1-2 保幼小接続・小中一貫教育の推進 ②小中一貫教育の推進（ <u>子どもを真ん中に据えた教育活動の展開</u> ）	計画体系 1 子ども一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす教育の実現 施策1-2 保幼小接続・小中一貫教育の推進 ②小中一貫教育の推進（ <u>イエナプランの要素を取り入れた教育活動の展開</u> ）

本編p.57

新	旧
施策1-2 保幼小接続・小中一貫教育の推進 事業 小中一貫教育の推進 年度別計画 ①全ての学校園における、 <u>子どもを真ん中に据えた教育活動の展開</u> 欄外 <u>（削除）</u>	施策1-2 保幼小接続・小中一貫教育の推進 事業 小中一貫教育の推進 年度別計画 ①全ての学校園における、 <u>イエナプラン教育²⁶の要素を取り入れた教育活動の展開</u> 欄外 <u>26 58 ページをご参照ください。</u>

本編p.58

新	旧
施策1-2 保幼小接続・小中一貫教育の推進 事業 小中一貫教育の推進 コラム②：イエナプラン教育について ～子ども一人ひとりが輝く学び～ <u>（削除）</u>	施策1-2 保幼小接続・小中一貫教育の推進 事業 小中一貫教育の推進 コラム②：イエナプラン教育について ～子ども一人ひとりが輝く学び～ <u>「子どもを真ん中に据えた教育」。これは、板橋区が今後さらに力を入れていく教育の姿です。その一つの参考になるのが「イエナプラン教育」です。イエナ</u>

プラン教育の理念はとてもシンプルで、「人が幸せに生きるための教育」をめざすものです。

板橋区では、これまで実施してきた既存の教育活動をイエナプラン教育の視点から捉え直し、その意義を考え、改めて充実を図っていきます。

例えば、イエナプラン教育では、「ブロックアワー」と呼ばれる自己選択型の学習を推進しています。これは、「板橋区授業スタンダード S」の授業実践と重なります。また、イエナプラン教育で行う、異学年混合クラスでの実践は、縦割り活動や、児童会、生徒会などの活動と重なります。すでに各学校園では、イエナプラン教育の要素を取り入れた教育活動を創意工夫しながら、子どもが自分らしく学び合える環境づくりを進めています。

イエナプラン教育は、特別な学校だけで実践するものではなく、公立学校でも実現可能な教育です。これからも板橋区は、子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、「学びの多様性」があふれる学校づくりに挑戦していくとともに、「イエナプラン教育の要素を取り入れた教育活動」などを通して、小中一貫教育をさらに推進していきます。

イエナプランとは

イエナプランとは、ドイツの教育学者ペーター・ペーターセンがイエナ大学の実験校で取り組んだ学校教育の考え方です。イエナプランでは、何よりも、人間が一人ひとり、ほかにはかけがえのないユニークな存在であることを出発点にしています。一人ひとりのかけがえのない価値が尊重され、生かされる社会が、イエナプランが描く理想の社会像です。

(参考文献「今こそ日本の学校に！イエナプラン実践ガイドブック」(リヒテルズ直子著 教育開発研究所))

新	旧
<p>取組 3-1 多様な児童・生徒に合わせた主体的・対話的で深い学びの推進概要</p> <p>児童・生徒の主体的な学びを促す「板橋区授業スタンダード」、児童・生徒が自分に合った学習内容等を自己選択・自己決定・自己調整し、学習に取り組む「板橋区授業スタンダードS」を推進します。</p> <p>また、多様な学びにつながる方策の一つとして、<u>子どもを真ん中に据えた</u>様々な教育活動や、「板橋区授業スタンダードS」の充実を図るほか、探究型学習などを行う、モデル校（小学校）の選定と研究を行います。</p> <p>3年間の取組</p> <p>② <u>探究型学習など多様な学びを推進するモデル校の選定、研究</u></p> <p><u>(削除)</u></p>	<p>取組 3-1 多様な児童・生徒に合わせた主体的・対話的で深い学びの推進概要</p> <p>児童・生徒の主体的な学びを促す「板橋区授業スタンダード」、児童・生徒が自分に合った学習内容等を自己選択・自己決定・自己調整し、学習に取り組む「板橋区授業スタンダードS」を推進します。</p> <p>また、多様な学びにつながる方策の一つとして、<u>イエナプラン教育⁴の要素を取り入れた</u>様々な教育活動や、「板橋区授業スタンダードS」の充実を図るほか、探究型学習などを行う、モデル校（小学校）の選定と研究を行います。</p> <p>3年間の取組</p> <p>② <u>イエナプラン教育の要素を取り入れたモデル校の選定、研究</u></p> <p><u>4 イエナプラン教育：探究型学習やサークル対話などを通じて、一人ひとりを尊重しながら自律と共生を学ぶ教育（イエナプラン教育は、ドイツで始まりオランダで広がったのち、日本でも注目され、実践する学校が増えている教育）</u></p>